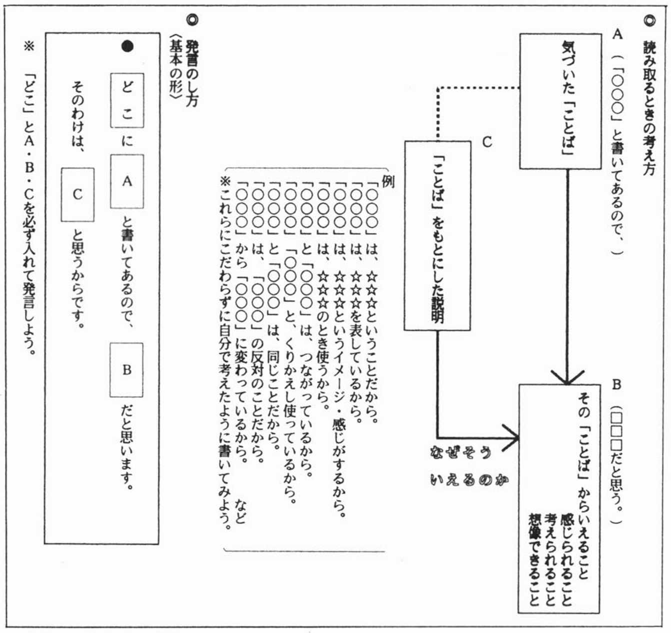
資料1　学習の手引き



◎読み取るときの考え方

A（「○○○」と書いてあるので、）

気づいた「ことば」

C

「ことば」をもとにした説明

なぜそういえるのか

B（□□□だと思う。）

その「ことば」からいえること
感じられること
考えられること
想像できること

例
「○○○」は、☆☆☆ということだから。
「○○○」は、☆☆☆を表しているから。
「○○○」は、☆☆☆というイメージ・感じがするから。
「○○○」は、☆☆☆のとき使うから。
「○○○」と「○○○」は、つながっているから。
「○○○」と「○○○」と、くりかえし使っているから。
「○○○」は、「○○○」は、同じことだから。
「○○○」は、「○○○」の反対のことだから。
「○○○」から「○○○」に変わっているから。　など
※これらにこだわらずに自分で考えたように書いてみよう。

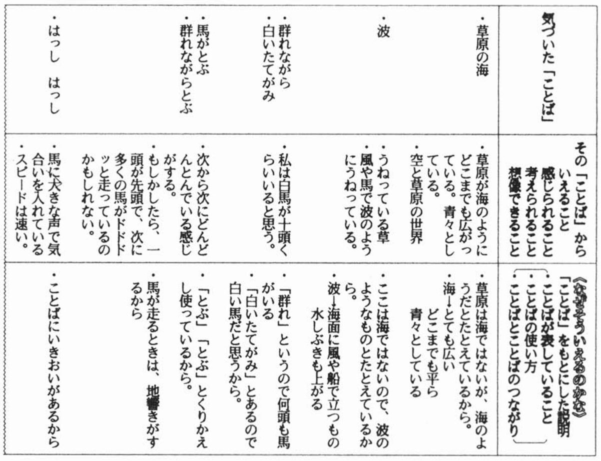
◎発言のし方
〈基本の形〉

● どこ に A と書いてあるので、B だと思います。
そのわけは、C と思うからです。

※「どこ」とA・B・Cを必ず入れて発言しよう。

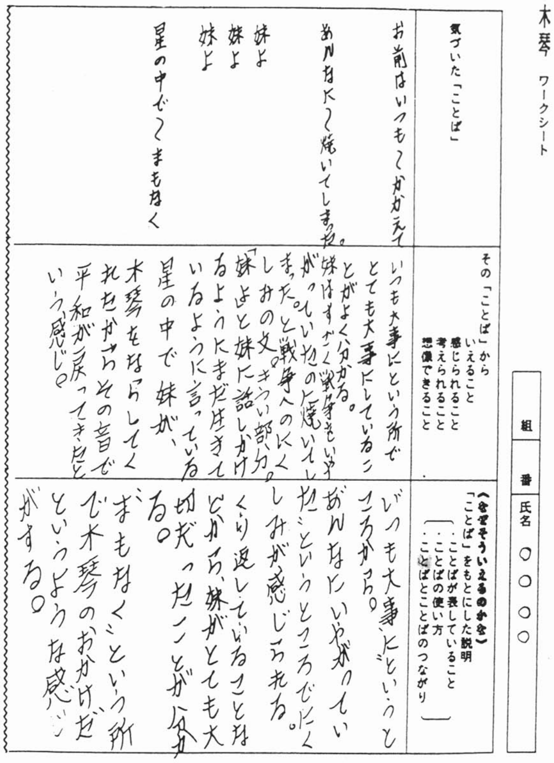
資料2　ワークシートの書き方の例

（馬でかければ―阿蘇草千里―）



気づいた「ことば」	その「ことば」から いえること 感じられること 考えられること 想像できること	《なぜそういえるのかな》 「ことば」をもとにした説明 ・ことばが表していること ・ことばの使い方 ・ことばとことばのつながり
・草原の海	・草原が海のようにどこまでも広がっている。青々としている。	・草原は海ではないが、海のようだとたとえているから。
	・空と草原の世界	・海→とても広い どこまでも平ら 青々としている
・波	・うねっている草 ・風や馬で波のようにうねっている。	・ここは海ではないので、波のようなものとたとえているから。 ・波→海面に風や船で立つもの 水しぶきも上がる
・群れながら ・白いたてがみ	・私は白馬が十頭くらいいると思う。	・「群れ」というので何頭も馬がいる ・「白いたてがみ」とあるので白い馬だと思うから。
・馬がとぶ ・群れながらとぶ	・次から次にどんどんとんでいる感じがする。 ・もしかしたら、一頭が先頭で、次に多くの馬がドドドッと走っているのかもしれない。	・「とぶ」「とぶ」とくりかえし使っているから。 ・馬が走るときは、地響きがするから
・はっし　はっし	・馬に大きな声で気合いを入れている ・スピードは速い。	・ことばにいきおいがあるから

資料3　ワークシート

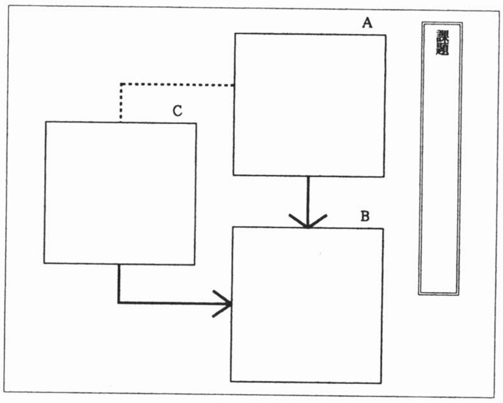


木琴　ワークシート

組　番　氏名　○○○○

気づいた「ことば」	その「ことば」から いえること 感じられること 考えられること 想像できること	《なぜそういえるのかな》 「ことば」をもとにした説明 ・ことばが表していること ・ことばの使い方 ・ことばとことばのつながり
お前はいつも〜かかえて あんなに〜焼いてしまった。 妹よ 妹よ 妹よ 星の中で〜まもなく	いつも大事にという所でとても大事にしていることがよく分かる。 妹はすごく戦争をいやがっていた物の焼いてしまった。と戦争へのにくしみの文。きつい部分。 「妹よと妹に話しかけるようにまだ生きているように言っている 星の中で妹が、木琴をならしてくれたからその音で平和が戻ってきたという感じ。	いつも大事にというところから。 あんなにいやがっていたというところでにくしみが感じられる。 くり返しているところなどから、妹がとても大切だったことが分かる。 まもなくという所で木琴のおかげだというような感じがする。

資料4　短冊シート



とを表していると思う。だから「私」は悲しいけれども，少しは喜びはあると思う。

C3　「あんなにいやがっていた戦争が／お前と木琴を焼いてしまった」とあるけど，それまでは「〜だよ」とか「〜ね」と語りかけている言い方だったのに，そこだけは「しまった」となっていて，完璧に言い切っている言い方だから，すごい悲しみというかここで言葉に詰まっちゃうくらい悲しかったんだと思う。

C4　「街が明るくなったんだよ」という明るさは，ただ電灯で明るいというばかりでなく，電灯がついたということは戦争が終わったということで，平和の兆しが見えてきたということだと思う。

C5　「よくこう言ったね／『早く街に赤や青や黄色の電灯がつくといいな』のところで普通だったら，「よく『早く街に〜つくといいな』と言っていたね」というところなのに，反対に言っていて，反対になっているということは，「私」はこのことばが一生忘れられなくてもう心にしみちゃっているから，こう言ったんだと思う。

C6　さっき，A子（C3）さんが「〜だよ」「〜よ」と言っていないところは言い切っているので，すごい悲しみがあるといった